

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	子宮頸部または体部に発生する腫瘍における腫瘍免疫微小環境の解析
	研究目的	子宮はウイルス・細菌抗原に暴露されている一方、父親由来の抗原を有する胎児を育てる免疫学的に特殊な臓器です。本研究では子宮から発生する腫瘍に存在する免疫細胞の種類と機能、分布を詳細に解析し、将来的に免疫療法に役立つ可能性のある知見を得ることを目的としています。
	研究対象者	2014年1月1日から2019年12月31日までに子宮頸癌、子宮体癌、絨毛性疾患、または良性腫瘍と診断され、神奈川県立がんセンター生体試料センターに資料保管を受けている方。
	研究期間	西暦 2021 年 6 月 21 日 ~ 西暦 2026 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター — 研究責任者	宮城洋平
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	婦人科、病理診断科、臨床研究所がん分子病態学部
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	理化学研究所・免疫細胞治療研究チーム・藤井眞一郎